

MCU/TS オペレーティング システム フォーマット (Fastbusting) の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[準備して下さい USB 棒がコンパクト フラッシュカード- Windows](#)

[準備して下さい USB 棒がコンパクト フラッシュカード- Mac](#)

[リカバリ- 8510/8710](#)

[回復- 4500 シリーズ](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は fastbust にどのようにマルチポイント制御装置/TelePresence サーバ (MCU/TS) を記述したものです。

MCU または TS ソフトウェアはユニットの中のフラッシュ メモリで保存されます。これはデジタル信号プロセッサ (DSP) のためのファイルと Operating System (OS) が、Web インターフェイスのための Web ページ、MCU/TS アプリケーション、音声ファイル、ユーザ設定、会議情報、監査ログ、CDR 等前に含まれています。

Fatbusting は内部 メモリの全体の OS パーティションがフォーマットされている OS およびアプリケーションが全く最初からインストールされているプロシージャを参照し。これはデータ損失無しでストレージのファイルがアップグレード ファイルからの新しいファイルと単にアップデートされる正常なソフトウェア アップデートに異なっています。

Fatbusting は正常なアップグレードがそれを起動することを拒否すれば、またはところで内部 メモリがどういうわけか破損するように固定しなかったらユニットがなったされ。これのための原因は下記のものを含んでいます：

- フラッシュ メモリ エラー
- 悪いアップデートによるソフトウェアへの破損
- ユニットのシャットダウンしないでオフにします
- ユニットがクラッシュした場合の悪いシャットダウン

プロセスはコンピュータのハード ドライブをフォーマットし直し、OS およびアプリケーションを再インストールするときかなり似ています。

警告： デバイスで格納されているデータすべては破棄されます。 config ファイルのバックアップはあらゆる必要なライセンス キー、SIP/H323 情報先祖などと賢明、です また USB 棒をフォーマットする必要がありますまたはコンパクト フラッシュカードはまたこれから保存したいと思うそうあらゆるデータ バックアップする必要があります。

このプロシージャは Cisco TAC の指導の下でだけ続く必要があります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- USB 棒 (8710/8510/5300 のために)
- コンパクト フラッシュカードおよび読者 (4200/4500 のために)
- 復元するたいと思うハードウェアプラットフォームのための fatbust イメージ。 イメージに関しては Cisco TAC に連絡して下さい
- シリアルポートとコンソールケーブルかシリアル アダプタへの USB
- ターミナル エミュレータ プログラム (PuTTY、コンソール、ハイパーターミナル)

使用するコンポーネント

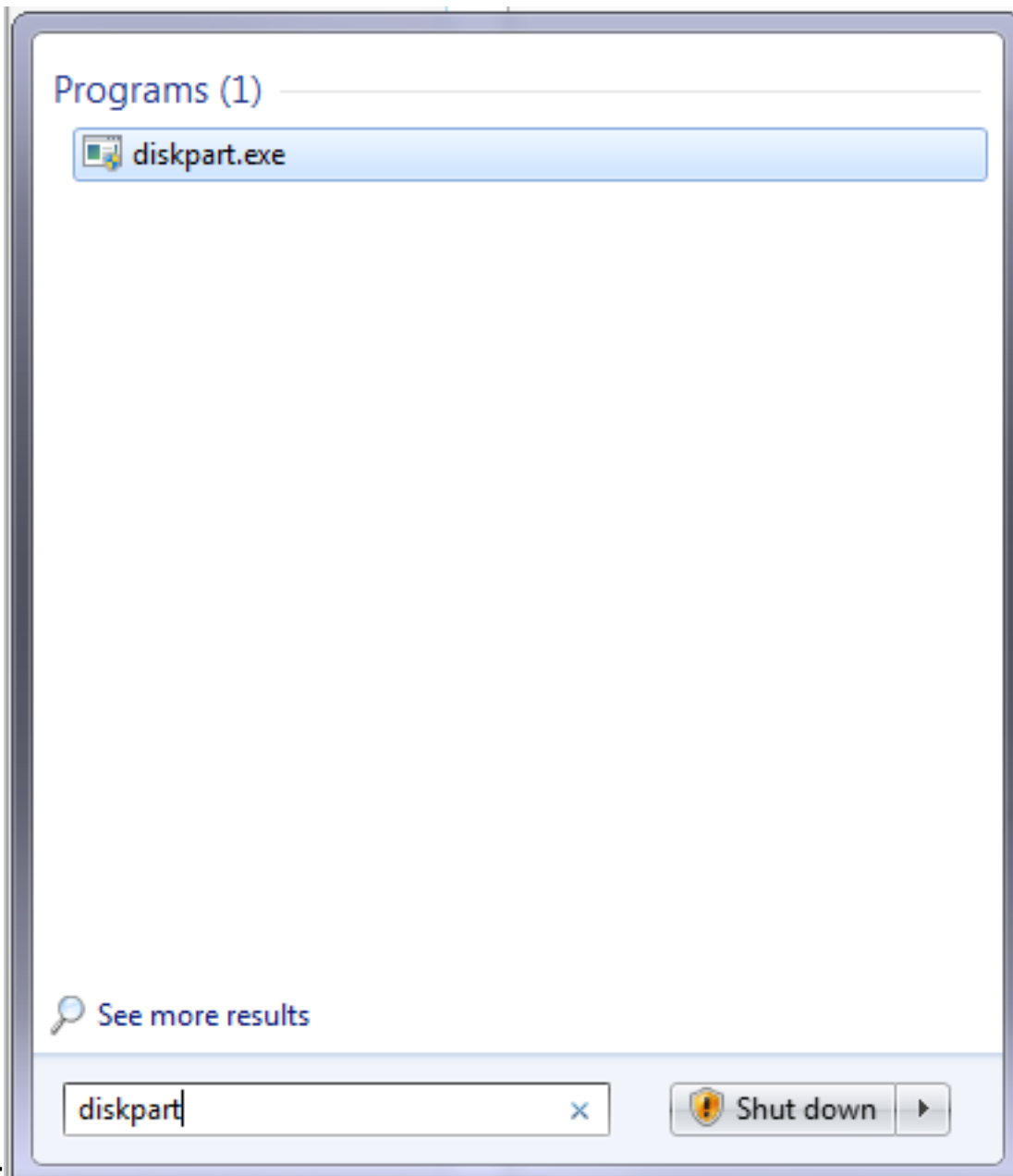
このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

準備して下さい USB 棒かコンパクト フラッシュカード- Windows

1. USB デバイスをコンピュータの USBポートに取り付けるか、またはコンピュータに接続されるカード読取り装置にコンパクト フラッシュカードを挿入して下さい。
2. Windows diskpart アプリケーションをロードして下さい。 『Start』 を選択し、**diskpart** を入力し、そして **diskpart.exe** をクリックして下さい



3. Windows からの警告メッセージを受け入れるために『Yes』をクリックして下さい。コマンドプロンプトがそれから表示されます。タイプエラーがその何かをないむしろフォーマットすることを意味する可能性があるので、各コマンドを正しく入力するし、正しいディスクをよように選択して下さい。システムですべての記憶装置を示すためにリスト ディスクを入力して下さい

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

Microsoft DiskPart version 6.1.7601
Copyright (C) 1999-2008 Microsoft Corporation.
On computer: SHORCHAR-W-PC

DISKPART> list disk

   Disk ###  Status              Size               Free               Dyn  Gpt
   -----  -
   Disk 0    Online              298 GB             0 B
   Disk 1    No Media            0 B                0 B
   Disk 2    No Media            0 B                0 B
   Disk 3    No Media            0 B                0 B
   Disk 4    No Media            0 B                0 B
   Disk 5    Online              14 GB              0 B

DISKPART>
```

4. デバイスのリストでよく調べて下さい。Disk0はおそらくコンピュータのCです: 駆動すれば、他のどのハードドライブも、USB デバイス、カード読取り装置等リストされています。ドライブを探して下さいフォーマットすることを計画するデバイスとほぼ一致する。この場合、16GB USB ドライブは挿入されます。従ってそれがシステムの唯一のその他のオプションであるので、14GB ドライブを選択して下さい。ディスクを選択するために選定されたディスクXを入力して下さい。Xはリストのディスク数です。この例では、ディスク

5:

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

Microsoft DiskPart version 6.1.7601
Copyright (C) 1999-2008 Microsoft Corporation.
On computer: SHORCHAR-W-PC

DISKPART> list disk

   Disk ###  Status              Size               Free               Dyn  Gpt
   -----  -
   Disk 0    Online              298 GB             0 B
   Disk 1    No Media            0 B                0 B
   Disk 2    No Media            0 B                0 B
   Disk 3    No Media            0 B                0 B
   Disk 4    No Media            0 B                0 B
   Disk 5    Online              14 GB              0 B

DISKPART> select disk 5

Disk 5 is now the selected disk.

DISKPART>
```

5. ドライブのパーティションすべてをリストするためにリストパーティションを入力して下さい。これはどんなパーティションがある告げ、また右のディスクを選択したようになりますか。

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

DISKPART> list disk

   Disk ###  Status              Size               Free               Dyn  Gpt
   -----  -
* Disk 0     Online              298 GB             0 B                0    0
  Disk 1     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 2     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 3     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 4     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 5     Online              14 GB              0 B                0    0

DISKPART> select disk 5

Disk 5 is now the selected disk.

DISKPART> list partition

   Partition ###  Type              Size               Offset
   -----  -
   Partition 1    Primary           14 GB             1024 KB

DISKPART>
DISKPART>
```

6. ドライブのすべてのパーティションを破棄して下さい。これをするために、きれい入力して下さい。確認および警告がありません。これはドライブのパーティション表を破棄し、データを回復することさらに困難にします。正しいドライブを選択してもらうことを確認することを忘れないようにして下さい

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

* Disk 0     Online              298 GB             0 B                0    0
  Disk 1     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 2     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 3     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 4     No Media            0 B                0 B                0    0
  Disk 5     Online              14 GB              0 B                0    0

DISKPART> select disk 5

Disk 5 is now the selected disk.

DISKPART> list partition

   Partition ###  Type              Size               Offset
   -----  -
   Partition 1    Primary           14 GB             1024 KB

DISKPART>
DISKPART> clean

DiskPart succeeded in cleaning the disk.

DISKPART>
```

7. パーティション表がきれいになることを確認するためにリストパーティションを入力して下さい

:

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

Disk 3    No Media    0 B    0 B
Disk 4    No Media    0 B    0 B
Disk 5    Online     14 GB   0 B

DISKPART> select disk 5
Disk 5 is now the selected disk.
DISKPART> list partition

  Partition ###  Type              Size      Offset
-----
  Partition 1    Primary           14 GB     1024 KB

DISKPART>
DISKPART> clean
DiskPart succeeded in cleaning the disk.
DISKPART> list partition
There are no partitions on this disk to show.
DISKPART>
```

8. ドライブの全体を使用する 1つのパーティションを作成するために、作成しますプライマリパーティションを入力して下さい

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe

DISKPART> list disk

  Disk ###  Status      Size      Free      Dyn  Gpt
-----
  Disk 0    Online     298 GB    0 B
  Disk 1    No Media    0 B
  Disk 2    No Media    0 B
  Disk 3    No Media    0 B
  Disk 4    No Media    0 B
  * Disk 5   Online     14 GB     14 GB

DISKPART> select disk 5
Disk 5 is now the selected disk.
DISKPART> clean
DiskPart succeeded in cleaning the disk.
DISKPART> create partition primary
DiskPart succeeded in creating the specified partition.
DISKPART>
```

9. 新しいパーティションをフォーマットして下さい。MCU/TS がそれを認識できるようにそれがファイル アロケーション テーブル 32 (FAT32) であることは重要です。それは Mac または新技術 ファイル システム (NTFS) フォーマットされていたドライブを認識しません。これをするために、FAT32 のクイックフォーマットのための形式 fs=fat32 を速く入力して下さい

```
C:\Windows\system32\diskpart.exe
Disk 3    No Media    0 B    0 B
Disk 4    No Media    0 B    0 B
* Disk 5    Online      14 GB   0 B

DISKPART> list partition

   Partition ###  Type              Size      Offset
-----
* Partition 1     Primary           14 GB     1024 KB

DISKPART> clean

DiskPart succeeded in cleaning the disk.

DISKPART> create partition primary

DiskPart succeeded in creating the specified partition.

DISKPART> format fs=fat32 quick

   100 percent completed

DiskPart successfully formatted the volume.

DISKPART>
```

今マイコンピュータのディスクを表示できます



10. ディスクに fatbust イメージをコピーして下さい。fatbust イメージは回復したいと思うハードウェアプラットフォームに特定です。正常なソフトウェアアップデートと同様に、ユニット 5300 に 8510 ブレードにしか 8510 fatbust を、5300 fatbust 等加えることができません。TAC からのイメージを得、USB ドライブにそれをコピーして下さい

Name	Date modified	Type	Size
codian_mcu8500_4.5(1.45)-FATBUST.kupgrade	15/05/2014 15:51	KUPGRADE File	53,961 KB

ファイル名の「fatbust」の存在によって fatbust と正常なイメージの違いをわかります。ファイルは名前のファイル拡張子か他のテキスト無しでちょうど「kupgrade に」、名前を変更する必要があります。順序では Windows の他のどのファイルもようにこれを、名前を変更しますファイルのすれば (ファイル拡張子の変更についての警告を受け入れるため)

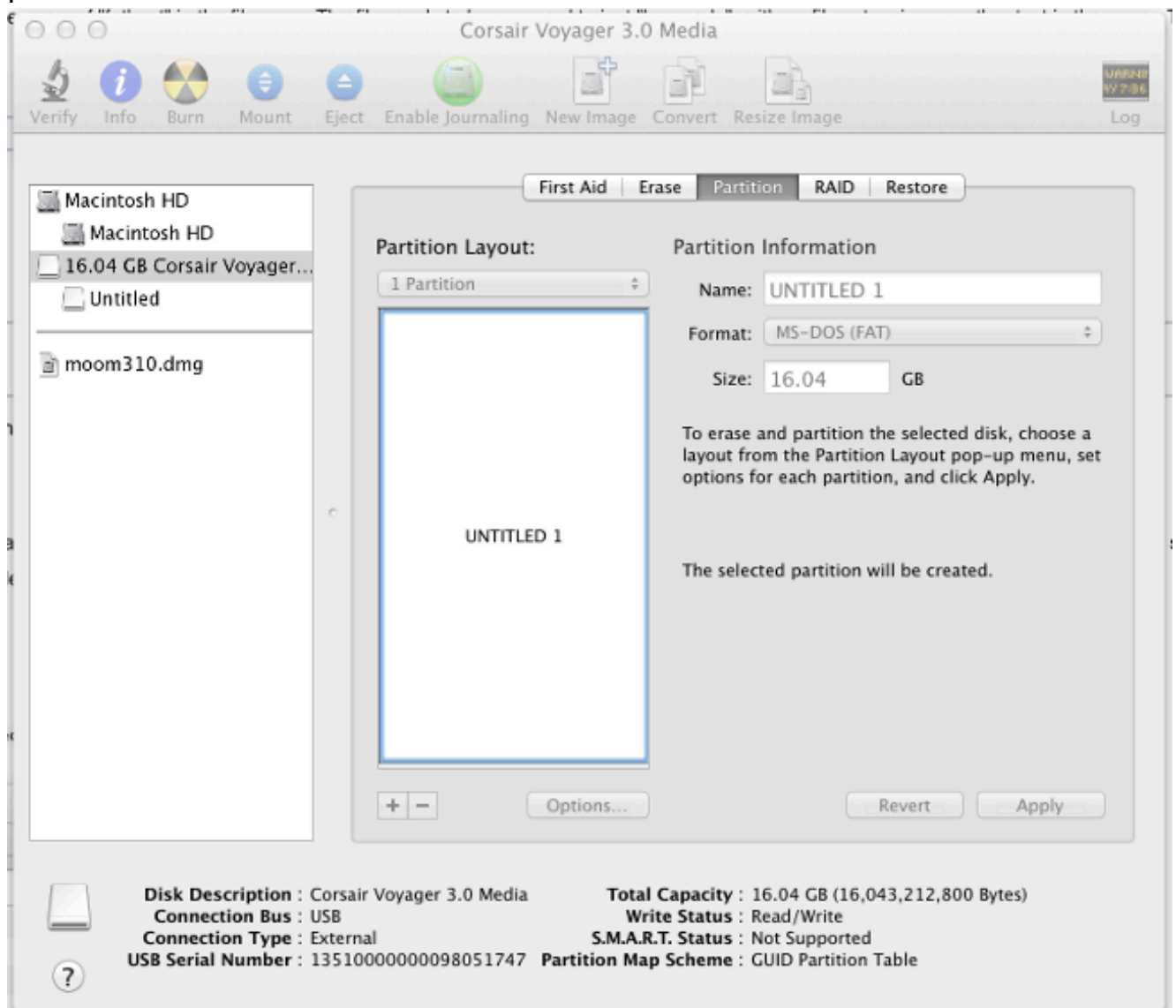
Name	Date modified	Type	Size
kupgrade	15/05/2014 15:51	File	53,961 KB

記憶装置はユニットを復元する現在準備ができています。

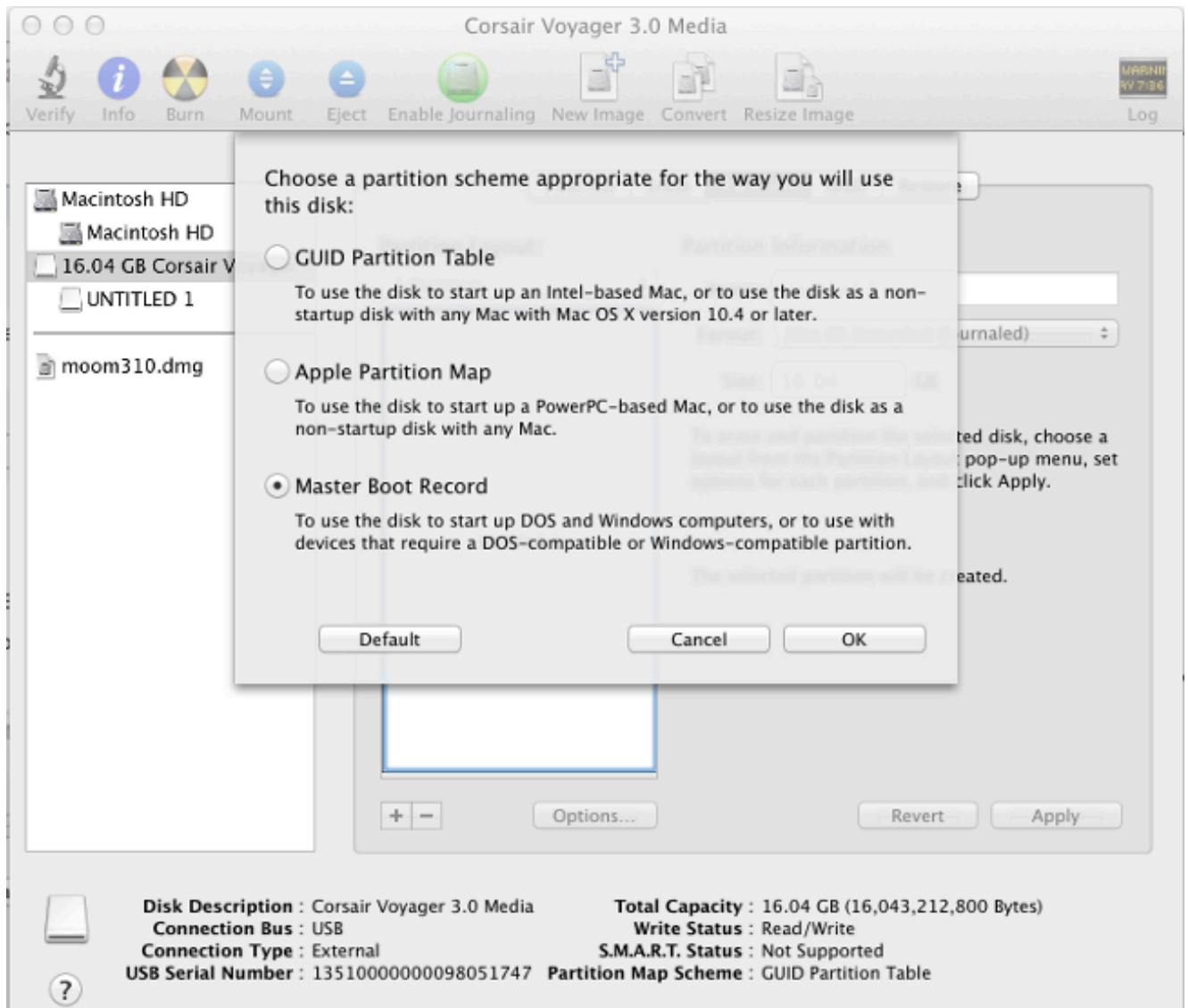
準備して下さい USB 棒かコンパクト フラッシュカード- Mac

1. Mac の USBポートに記憶装置を接続して下さい (USB ドライブまたは USB コンパクト フラッシュカード カード読み取り装置)。
2. ディスクユーティリティを開始して下さい。ディスクユーティリティをメニューバーのスポットライト検索ボックスに入力するか、または > ディスクユーティリティ Applications > Utilities の順に選択して下さい。

3. フォーマットしたいデバイスをクリックして下さい。そしてクリックします Partition タブ を正しいドライブをフォーマットすることを計画することを慎重に検査することを忘れないようにして下さい。現在のドロップダウン ボックスから、パーティションを『1』を選択し、そして形式ドロップダウン ボックスの MS-DOS (FAT) を選択して下さい。名前は重要ではありません

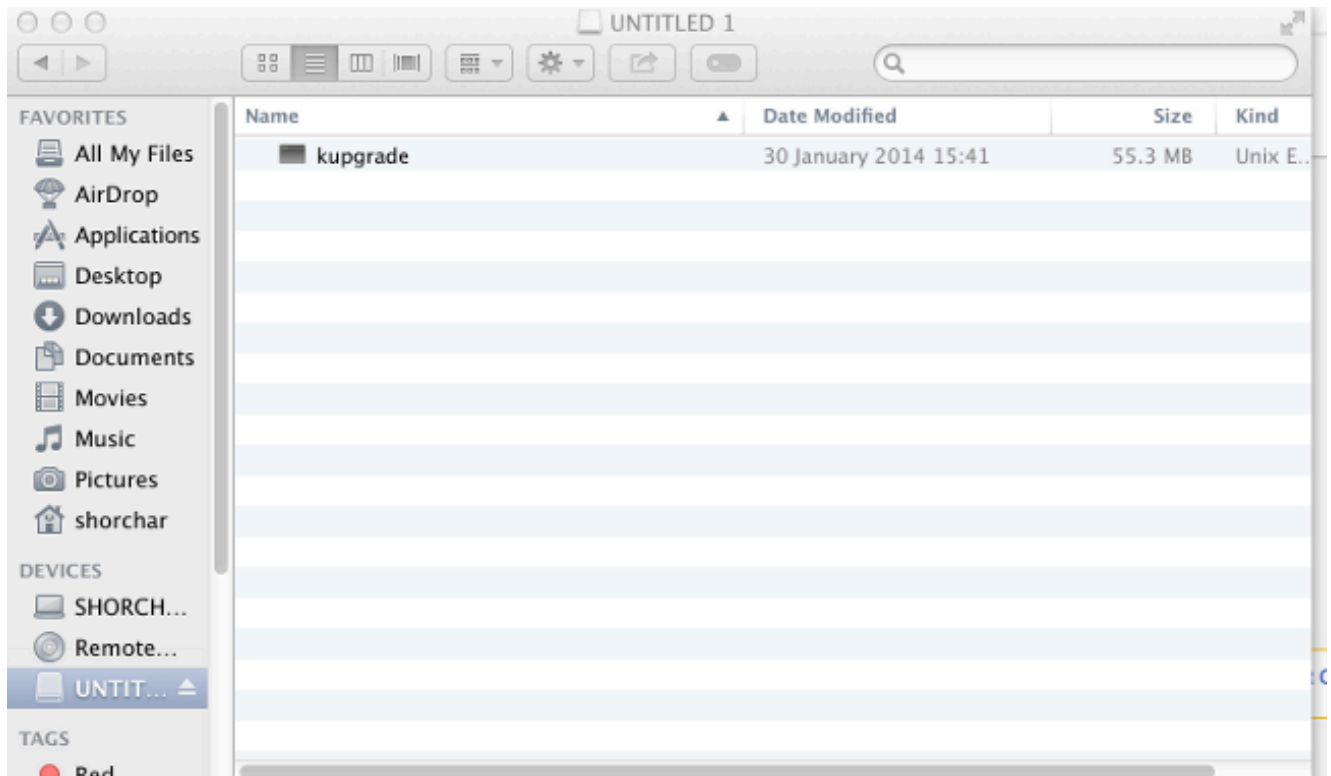


4. ウィンドウの下部ので『Options』をクリックして下さい。デフォルトで Mac がグローバルに固有の 識別子 (GUID) パーティション表を使用するために試みるのでパーティション構成としてマスター ブート レコードを選択することは重要です、



5. [Apply] をクリックします。形式が完了すれば、それから正しくフォーマットされているデバイスがあるはずですが。他のどのファイルもようにファインダーのデバイスに行き、USBドライブにファイルをコピーして下さい。それからファイルをクリックし、リターンキーを押し、「kupgrade」にそれを名前を変更して下さい

:



記憶装置は使用可能です。

リカバリ- 8510/8710

プロシージャは同じハードウェアの 8710 および 8510 のため同じです。

ユニットを回復 するため:

1. 以前に説明されるように USB 棒を準備して下さい。
2. コンソール接続の近くで上でブレードの先頭の 2 つの USBポートの 1 つに USB 棒を、挿入して下さい。コンソールケーブルをコンソールポートに接続し、ターミナル エミュレータをロードして下さい (シリアルポート設定は 38400bps、8 データビット、1 つのストップ・ビット、no parity です) :
3. ユニットをリブートして下さい。シャットダウンを入力し、シリアルコンソールにリブートして下さい:

```
MCU:> shutdown
shutting down
MCU:> reboot
104725.174 SYSTEM : Warning : Product activation key required
reboot: waiting for shutdown to complete
104729.531 SYSTEM : Info : shutdown monitor - shutdown initiated
104729.531 GATEKEEPER : Info : shutdown initiated
104729.531 GATEKEEPER : Info : shutdown complete
104729.531 CONFERENCE : Info : no active participants - shutdown now complete
104730.032 SYSTEM : Info : shutdown process - all priority 100 handlers complete
104730.032 SYSTEM : Info : shutdown process - shutdown complete
Waiting (max 60 seconds) for system process `vnlru' to stop...done
Waiting (max 60 seconds) for system process `fastpath' to stop...done
Waiting (max 60 seconds) for system process `bufdaemon' to stop...done
Waiting (max 60 seconds) for system process `syncer' to stop...
Syncing disks, vnodes remaining...0 0 done
All buffers synced.
Uptime: 29m39s
...
Rebooting...
cpu_reset: Stopping other CPUs
```

```
Host requested soft-reboot... Asserting nHOST_RESET
HUB configured.
Hardware Revision = 0x01
SlotID = 0xf2
Asserting MCU_DSP_PWR_EN
```

```
Deasserting nHOST_RESET USB デバイスから kupgrade ファイルをロードしていることユニッ
ト リブートが、メッセージを見るはずであると同時に。 ユニットがコピーを終え、起動し
始めたら USB 棒のプラグを抜いて下さい:      Checking system timer ... OK
```

```
EEPROM digest:
84 b2 ce a9 66 a2 4f 9b e4 b0 6b 66 c1 53 a9 82
FreeUsbd v.0.1.2
USB pre initialised
FIDDLESTICKS
Host stat now 42
```

```
USB mass storage manufacturer : General (8644)
USB mass storage product name : USB Flash Disk (8003)
USB mass storage serial number: 0531230000000636
Number of logical drives: 1
```

```
USB drive (1) mounted: fsName 'usbfs2a'
kernel_boot(usbfs1a:kupgrade)
kernel_boot(usbfs2a:kupgrade)
```

```
.....
No fat payload ## unplug here
```

```
Image version: 4.0(2.8)
entrypoint 0xc045f2b0
KDB: debugger backends: ddb
KDB: current backend: ddb
Copyright (c) 1992-2013 The FreeBSD Project.
Copyright (c) 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994
The Regents of the University of California. All rights reserved.
FreeBSD is a registered trademark of The FreeBSD Foundation.
FreeBSD 8.4-RELEASE #0: Fri Jan 31 13:08:49 GMT 2014
```

4. ユニットが起動した後、リカバリプロセスは開始されます。新しいパーティションは作成され、それからファイルはコピーされ、ファームウェアは正常なアップデートとしてちょうどアップデートされます。: Checking system timer ... OK

```
EEPROM digest:
84 b2 ce a9 66 a2 4f 9b e4 b0 6b 66 c1 53 a9 82
FreeUsbd v.0.1.2
USB pre initialised
FIDDLESTICKS
Host stat now 42
```

```
USB mass storage manufacturer : General (8644)
USB mass storage product name : USB Flash Disk (8003)
USB mass storage serial number: 0531230000000636
Number of logical drives: 1
```

```
USB drive (1) mounted: fsName 'usbfs2a'
kernel_boot(usbfs1a:kupgrade)
kernel_boot(usbfs2a:kupgrade)
```

```
.....
No fat payload ## unplug here
```

```
Image version: 4.0(2.8)
entrypoint 0xc045f2b0
KDB: debugger backends: ddb
KDB: current backend: ddb
Copyright (c) 1992-2013 The FreeBSD Project.
Copyright (c) 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994
The Regents of the University of California. All rights reserved.
FreeBSD is a registered trademark of The FreeBSD Foundation.
```

5. 再度ユニット リブートは MCU/TS アプリケーションに、うまく行けば普通起動し、その時点でそれを普通再構成できます。、この時点でユニットがそれでも起動しなかったら、TAC に連絡して下さい。

回復- 4500 シリーズ

1. 前の手順を使用してコンパクト フラッシュカードを準備して下さい。フォーマットされていたコンパクト フラッシュカードがあるはずですが、カードの唯一のファイルは「kupgrade」確認すればそれ fatbust イメージが含まれています。
2. MCU の先頭にコンパクト フラッシュカード スロットにカードを置いて下さい。コンソールケーブルをコンソールポートに接続し、ターミナル エミュレータをロードして下さい (シリアルポート設定は 38400bps、8 データビット、1 つのストップ・ビット、no parity です)
3. MCU プロンプトが表示されるために入力 キーを押さなければならない幾つかの間かもしれません。コンソールがあるとき、MCU を停止するためにシャットダウンを入力して下さい。それからそれをリブートするために再度ブートするを入力して下さい。MCU が起動しない場合、それ自身をリブートする前に MCU のパワーサイクルを行うか、またはカードを置くため。ブートプロセスの間に、MCU が挿入した CF カードに気づいていることがわかるはずですが。これの後で、それはメモリにアップグレード ファイルをコピーするように試み、それから起動し始めます: rebooting

```
*** (C) Codian Ltd 2004-2005 ***
Resetting PCI
Calling Mpc107init
Mpc107init done
Testing SDRAM data lines ... ok
Testing SDRAM address lines ... ok
Relocating .text from FFF00000-FFF0B36E to 0E010000
Relocating .data from FFF0B380 to 0E01B380-0E01B7C8
Clearing .bss from 0E01B7C8-0E09EDA4
Initialising timebase regs
Calling main L1 strap : built at Jul 7 2005 - 23:19:46
L2 found : image size 000362e4 version 2005:07:08 11:19
Starting L2
L2 Bootstrap
Relocating .text from FFF10000-FFF450B0 to 0E010000
Relocating .data from FFF450C0 to 0E0450C0-0E0462E4
Clearing .bss from 0E0462E4-0E0CA930
Calling main Hello from l2_main
card detected in internal slot (EXCA_STATUS = 4c)
waiting until status ready ...ok!
mounting dos0
fatsize = 00010000
card detected in external slot (EXCA_STATUS = 6f)
waiting until status ready ...ok!
mounting dos1
fatsize = 0001e600
Product - Unknown (00000054)
MAC address - 00:0d:7c:e2:00:06
Serial number - XX710003
Motherboard serial number - SM00674
Slotmask : 00000028
03 - SD01127
05 - SD01234
Devmode : 00010000
Trying dos1:kupgrade
copying dos1:kupgrade to md0:00000000.....
```

```
.....0226bbe6 bytes copied # the unit is copying the image
Image version : 4.5(1.45)
fd=7
loadelf fd=7 Elf_Ehdr=0xeffffe58 marks=0xe0c632c flags=0000003f
loadelf line 78
loadelf line 86
loadelf line 93
loadelf line 150
loadelf line 165
loadelf line 178
loadelf line 200
loadelf line 200
ok
MARK[0] = 00090000
MARK[1] = 00090000
MARK[2] = 00000001
MARK[3] = 024f7da8
MARK[4] = 02530838
calling ksyms_init (startkernel=0x090000 endkernel=0x253b000 edata=0x0
end=0x7f454c46 startsym=0x24f7da8 endsym=0x2530838
ksyms_init
Loaded initial symtab at 0x24f7da8, strtabs at 0x25162dc, # entries 7245
Copyright (c) 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003
The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1991, 1993 The Regents of the
University of California. All rights reserved.
NetBSD 1.6ZG (RAMDISK) #0: Fri Sep 6 20:35:51 UTC 2013
jenkins@bv-freebsd-01:/scratch/jenkins/workspace/netbsd1.6-ramdisk--
default/systems/os/netbsd/src/sys/arch/
marvin/compile/obj/RAMDISK
total memory = 240 MB
avail memory = 183 MB
using 3072 buffers containing 12388 KB of memory
sysctl_createv: sysctl_create(cacheinfo) returned 17
mainbus0 (root)mainbus_attach

eumbbus_match: cpu eumbbus
cpu0 at mainbus0: Version 0x8081 (Revision 0x1014), ID 0 (primary)
cpu0: HID0 90c000<DOZE,DPM,ICE,DCE>
config_found cpu done
eumbbus_match: eumbbus eumbbus
eumbbus0 at mainbus0eumbbus_attach
.....
wd0 at atabus0 drive 0: <SILICONSYSTEMS INC 256MB>
wd0: drive supports 1-sector PIO transfers, LBA addressing
wd0: 248 MB, 994 cyl, 16 head, 32 sec, 512 bytes/sect x 508928 sectors
howto 2 bootdev 0 boot device: wd0
root on md0a dumps on md0b
about to call domountroothook
about to call vfs_mountroot
rtcinit()
Warm Boot
Time is now 02:11:16.53 07/08/14

root file system type: ffs
Enabling serial port...
Setting up serial terminal...
Starting kupgrade process
*****
* Starting kupgrade *
***** # remove CF card here

Checking filesystems...
Mounting filesystems...
```

```
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
Mounting flash card...
kupgrade running in mode: fatbust # recovery process begins
Erasing ALL filesystems in 5 seconds...
Wipe MBR
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
32+0 records in
32+0 records out
16384 bytes transferred in 0.675 secs (24272 bytes/sec)
Add MBR
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
wd0: no disk label
fdisk: partition table invalid, no magic in sector 0
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
wd0: no disk label
fdisk: partition table invalid, no magic in sector 0
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
wd0: no disk label
fdisk: partition table invalid, no magic in sector 0
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
wd0: no disk label
fdisk: partition table invalid, no magic in sector 0
add cf disklabel
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
wd0: no disk label
disklabel: Invalid signature in mbr record 0
newfs 0a
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
/dev/rwd0a: 64.0MB (131072 sectors) block size 8192, fragment size 1024
using 4 cylinder groups of 16.00MB, 2048 blks, 3968 inodes.
super-block backups (for fsck -b #) at: 32, 32800, 65568, 98336,
newfs 0d
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
/dev/rwd0d: 8.0MB (16384 sectors) block size 8192, fragment size 1024
using 4 cylinder groups of 2.00MB, 256 blks, 448 inodes.
super-block backups (for fsck -b #) at: 32, 4128, 8224, 12320,
newfs 0b
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
/dev/rwd0b: 130748 sectors in 32687 FAT16 clusters (2048 bytes/cluster)
MBR type: 6
bps=512 spc=4 res=1 nft=2 rde=512 mid=0xf8 spf=128 spt=32 hds=16 hid=32 bsec=131040
card ready
rbus_space_alloc: addr 0, size 1000, mask fff, align 1000
Extracting read-write fs

0% 0 0.00 KB/s --:-- ETA
19% 175 KB 174.38 KB/s 00:04 ETA/
100% 885 KB 439.40 KB/s 00:00 ETA
100% 885 KB 415.22 KB/s 00:00 ETA
/dev/rwd0a: 64.0MB (131072 sectors) block size 8192, fragment size 1024
using 4 cylinder groups of 16.00MB, 2048 blks, 3968 inodes.
super-block backups (for fsck -b #) at: 32, 32800, 65568, 98336,
Extracting root fs 0% 0 0.00 KB/s --:-- ETA 1% 722 KB 701.11 KB/s 01:26
ETA 2% 1554 KB 754.67 KB/s 01:19 ETA 3% 2335 KB 777.73 KB/s 01:15
```

ETA 4% 3058 KB 763.62 KB/s 01:16 ETA 6% 3826 KB 757.91 KB/s 01:15
ETA ... 99% 61359 KB 748.26 KB/s 00:00 ETA 99% 61375 KB 739.24 KB/s 00:00
ETA 99% 61407 KB 730.89 KB/s 00:00 ETA 100% 61411 KB 722.43 KB/s 00:00
ETA 100% 61411 KB 715.36 KB/s 00:00 ETA

Upgrade complete

umount: /rootfs: Device busy

Rebooting...

Aug 7 02:13:32 reboot: rebooted by root

Aug 7 02:13:32 init: single user shell terminated, restarting

syncing disks... done

rebooting

*** (C) Codian Ltd 2004-2005 ***

Resetting PCI

Calling Mpc107init

Mpc107init done

Testing SDRAM data lines ... ok

Testing SDRAM address lines ... ok

Relocating .text from FFF00000-FFF0B36E to 0E010000

Relocating .data from FFF0B380 to 0E01B380-0E01B7C8

Clearing .bss from 0E01B7C8-0E09EDA4

Initialising timebase regs

Calling main L1 strap : built at Jul 7 2005 - 23:19:46

L2 found : image size 000362e4 version 2005:07:08 11:19

Starting L2

L2 Bootstrap

Relocating .text from FFF10000-FFF450B0 to 0E010000

Relocating .data from FFF450C0 to 0E0450C0-0E0462E4

Clearing .bss from 0E0462E4-0E0CA930

Calling main Hello from l2_main

card detected in internal slot (EXCA_STATUS = 4c)

waiting until status ready ...ok!

mounting dos0

fatsize = 00010000

no card in external slot (EXCA_A[EXCA_STATUS] = 00)

Product - Unknown (00000054)

MAC address - 00:0d:7c:e2:00:06

Serial number - XX710003

Motherboard serial number - SM00674

Slotmask : 00000028

03 - SD01127

05 - SD01234

Devmode : 00010000

Trying dos1:kupgrade

error opening source file dos1:kupgrade

Trying dos0:kupgrade

error opening source file dos0:kupgrade

Trying dos0:netbsd

copying dos0:netbsd to md0:00000000.....002f09c3 bytes copied

Image version : 4.5(1.45)

fd=6

loadelf fd=6 Elf_Ehdr=0xefff58 marks=0xe0c632c flags=0000003f

loadelf line 78

loadelf line 86

loadelf line 93

loadelf line 150

loadelf line 165

loadelf line 178

loadelf line 200

loadelf line 200

ok

```
MARK[0] = 00090000
MARK[1] = 00090000
MARK[2] = 00000001
MARK[3] = 005ff688
MARK[4] = 00648c48
```

```
Copyright (c) 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006,
2007, 2008, 2009, 2010 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
```

```
Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1991, 1993 The Regents of the
University of California. All rights reserved.
```

```
NetBSD 5.1 (ZAPHODCONF) #0: Tue Apr 1 17:33:24 BST 2014
```

```
root@bv-ubuntu-09:/ram-work/systems/os/netbsd5_1/usr/src/sys
```

```
/arch/sandpoint/compile/obj/ZAPHODCONF
```

```
boot process continues 再度ユニット リブートは MCU/TS アプリケーションに、うまく行
けば普通起動し、その時点でそれを普通再構成できます。、この時点でユニットがそれ
でも起動しなければ、Cisco TAC に連絡するため
```

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。